



愛西市文化会館 女性用トイレの改修を

高松 幸雄 議員

施設の大規模修繕などで検討していく
教育部長



▲ネーミングライツを導入している垣見鉄工アリーナ

問 本市では令和6年4月より、親水公園総合体育館で垣見鉄工株式会社とネーミングライツを契約締結したが取り組み状況は。

答 公共施設に関する愛称の命名権を与えるネーミングライツは、これまで対象施設を特定して募集する公募型ネーミングライツだったが、7年7月より新たに施設を選択する提案型ネーミングライツの募集を開始した。

問 本市における提案型のネーミングライツの対象となる施設は。

答 佐織総合運動場、文化会館、二子ふれあい公園、消防団詰所などが対象となる。

問 「愛西市文化会館の女性用トイレは和式が多く使いづらい」との声が寄せられている。文化会館の女性用トイレの洋式和式の設置数は。

答 ホールには和式6基、

洋式3基がある。

問 ネーミングライツを活用し文化会館のトイレ改修費用に使うことはできるか。

答 可能であると考えている。

問 誰もが使いやすいトイレの環境整備は急務だと考えているが、本市としての見解は。

答 文化会館は開設後約40年が経過し、施設の大規模修繕などで検討していく。

軟骨伝導イヤホン
導入をすべきでは

問 軟骨伝導イヤホンは

軟骨を伝わって音を聞くことができるイヤホンのことで、音漏れも少なく聞き取れることができる。耳穴を塞がずに音声を伝える軟骨伝導イヤホンは

衛生的であるために近年では既に複数の自治体で導入が進んでいるが近隣の市町村の導入の状況と必要な初期費用は。

答 愛知県内では12市町の導入を確認している。近隣市町では弥富市が1台、あま市が10台、津島市が2台設置している。価格は4万円ほどである。

問 窓口業務において本市でも軟骨伝導イヤホンの導入を検討すべきではないか。市長の見解は。

答 県下でも導入が進んでいる。近隣では導入の経緯や財源等もまちまちであるので、どういった形で導入するのが一番望ましいのか判断しながら検討していく。